

文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業



慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点

活動報告 Activity Report No.10

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点主催 パネルデータ解析セミナー

【対象】学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、
公務員、シンクタンク等研究機関研究員

【日時】平成23年9月5日（月）～8日（木）
13:00～18:00

【場所】三田キャンパス大学院棟 322教室

【プログラム】

- (1) Stataの利用方法
- (2) パネルデータの構築
 - (a)異なるデータセットの接続 (merge, appendコマンド)
 - (b)繰返しによる処理(foreachなど)
 - (c)マクロ (localなど)
- (3) クロスセクション分析
 - (a)質的従属変数モデル (probit, logit, clogit)
 - (b)サンプル・セレクションモデル (heckman)
- (4) パネルデータ分析
 - (a)固定効果・変数効果モデル (xtreg)
 - (b)差分の差分推定
 - (c)イベント・ヒストリー分析
(ハザード分析・サバイバル分析)



樋口美雄拠点代表

慶應義塾大学三田キャンパスにて、2011年9月5日～8日までの4日間の日程で、慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点主催の「パネルデータ解析セミナー」が開催された。

セミナーの内容は、データセットの構築・ハンドリングの方法から、回帰分析モデルや基礎的なパネルデータの分析手法、パネルデータ利用時に発生する諸問題(脱落問題など)への対処方法について講義が行われた。また、受講者の知識の定着を高めるべく、実際にパネルデータ(慶應・京大連携グローバルCOEプログラムによって設計・実施された「慶應義塾大学家計パネル調査」)を用いながら、統計ソフトStata®による演習を実施した。

年に2回開催されている本セミナーは、今回で5回目となり、前回に引続き、定員(60名)を超える申し込みを頂いた。受講者は、大学教員、大学・大学院生などの学術分野だけでなく、官公庁や民間シンクタンクの職員など、様々な分野から参加があり、あらゆる方面で統計解析手法やパネルデータへの関心の高さがうかがえた。連日3コマ(4時間半)の長丁場であったが、最終日まで、参加者の方々は熱心に受講され、盛況に幕を閉じた。終了後に多くの参加者にご協力いただいたアンケート回答結果を、今後のセミナー開催に活かし、より一層充実した活動を行っていきたい。



セミナーの様子